

# 2021年3月期第2四半期 決算補足説明資料



—やすらぎと安心の創造—

証券コード:5237

# 目次

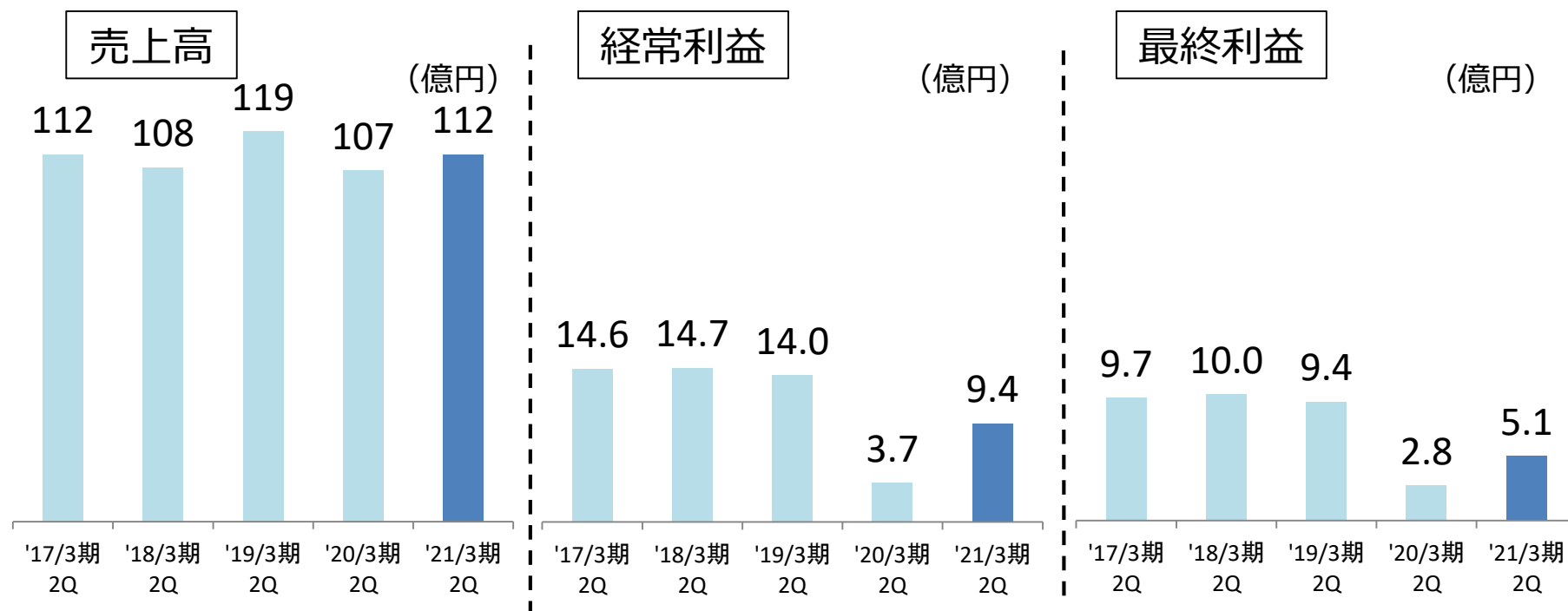
---

1. 2021年3月期第2四半期 連結決算の概要
2. 2021年3月期業績予想
3. 連結品種別売上高推移
4. 連結貸借対照表前期末比較
5. 連結キャッシュ・フローの状況
6. 連結経営指標
7. トピックス

# 1. 2021年3月期第2四半期 連結決算の概要

## 【対前年同期比】

- 売上高112億円（前年同期比3.9%増）、経常利益9.4億円（前年同期比147.9%増）、最終利益5.1億円（前年同期比83.8%増）。
- 当第2四半期での売上高へのコロナ感染症の影響は軽微。主力の押出成形セメント製品関連で増加し、前年同期比増収。
- 経常利益・最終利益は、増収及びNNPS(ノザワ・ニュー・プロダクション・システム)改善活動によるコストダウンに加え、コロナ感染症の影響で営業活動等が制約を受けたこと等による販売費及び一般管理費の前期比減で増益。



# 1. 2021年3月期第2四半期 連結決算の概要

## 【対5/28公表予想比】

- 主力の押出成形セメント板「アスロック」及び住宅用軽量外壁材が増加し増収。
- 増収及びコストダウンによる増益に加え、販売費及び一般管理費においては、5/28時点での想定以上にコロナ感染症拡大防止対策に伴う営業活動等の制約により、出張旅費等諸経費が減少したこと等から、営業利益は予想比増益。

(金額:百万円)

	2021/3月期 2Q 実績		2021/3月期 2Q 5/28公表予想値		増減 (5/28公表予想比)		(ご参考) 2Q当初計画 (コロナ影響除く)		(ご参考) 増減 (当初計画比)	
	金額	利益率	金額	利益率	金額	利益率	金額	利益率	金額	利益率
売上高	11,211		10,600		+611		11,200		+11	
営業利益	927	8.3%	480	4.5%	+447	+3.8pt	580	5.2%	+347	+3.1pt
経常利益	941	8.4%	490	4.6%	+451	+3.8pt	560	5.0%	+381	+3.4pt
最終利益	518	4.6%	320	3.0%	+198	+1.6pt	360	3.2%	+158	+1.4pt

## 2. 2021年3月期 業績予想

(11月11日に「業績予想の修正に関するお知らせ」を公表しております)

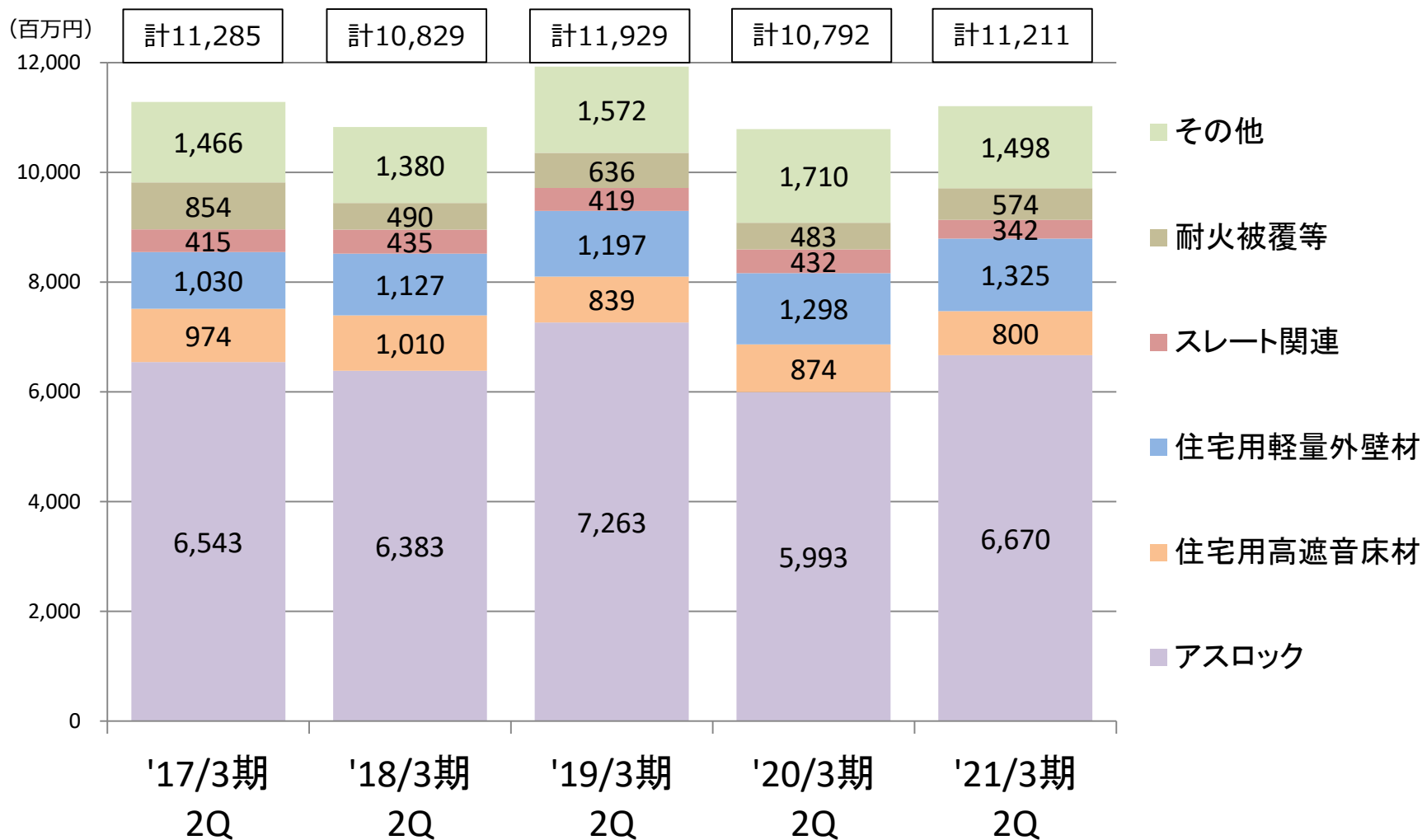
- 下半期業績におけるコロナ感染症の影響の見通しは、上半期のコロナ感染症による営業活動の制約や、経済停滞に伴う建設計画の延期・中止等の影響が表れるものの、5/28時点の想定ほどの影響はない見込みであり、下半期業績は5/28公表予想比増収増益、通期業績も第2四半期業績を踏まえ下表のとおり5/28公表予想比増収増益の見込みです。
- 2020年3月期実績比では、下半期業績は前述のとおりコロナ感染症の影響を受け、押出成形セメント製品をはじめ全品種で減収となり、これに伴い減益となる見込みですが、コストダウンへの取組み等により減益幅の縮小に努め、通期業績では第2四半期業績を踏まえ下表のとおり減収増益となる見込みです。

(金額:百万円)

	2021/3月期 今回予想値		2021/3月期 5/28公表予想値		増減 (5/28公表予想比)		2020/3月期 実績		増減 (2020/3月期実績比)	
	金額	利益率	金額	利益率	金額	利益率	金額	利益率	金額	利益率
売上高	21,700		21,000		+700		22,486		▲786	
営業利益	1,450	6.7%	950	4.5%	+500	+2.2pt	1,201	5.3%	+248	+1.4pt
経常利益	1,450	6.7%	950	4.5%	+500	+2.2pt	1,215	5.4%	+234	+1.3pt
最終利益	870	4.0%	620	3.0%	+250	+1.0pt	854	3.8%	+15	+0.2pt

### 3. 連結品種別売上高推移

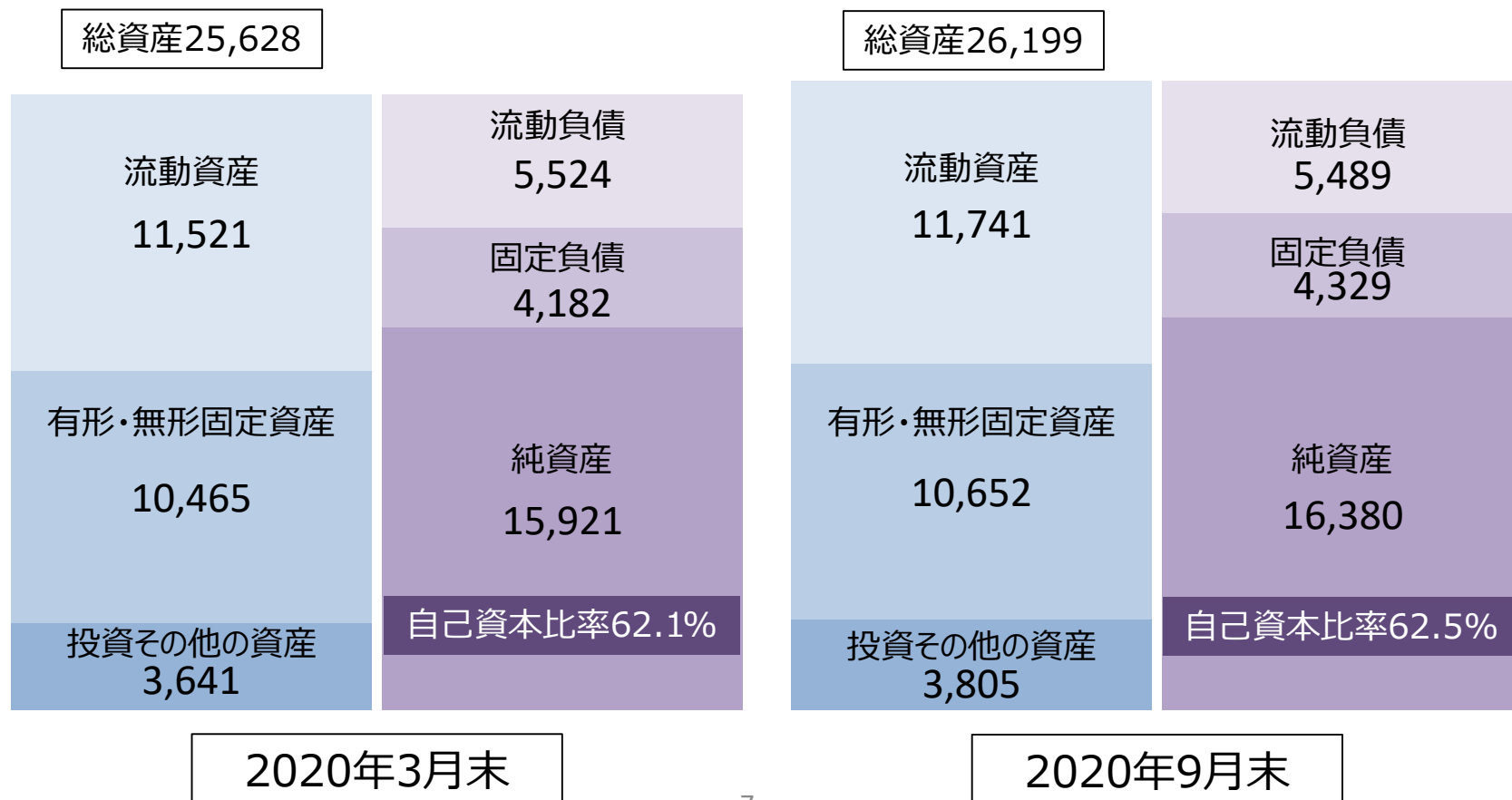
- 2021年3月期2Q連結売上高は、主力の押出成形セメント板「アスロック」が伸長し前年同期比3.9%増。



## 4. 連結貸借対照表前期末比較

- 総資産は前期末比5.7億円増加。主に現金及び預金4億円増加、有形固定資産1.8億円増加による。
- 負債は前期末比1.1億円増加。主に訴訟損失引当金0.9億円増加による。
- 純資産は前期末比4.5億円増加。主に利益剰余金2.3億円増加による。
- 自己資本比率は62.5%で前期比0.4pt増加。

(百万円)



# 5. 連結キャッシュ・フローの状況

- 営業キャッシュ・フローは+12.1億円、投資キャッシュ・フローは▲5.1億円となり、フリーキャッシュ・フローは+7.0億円。財務キャッシュ・フローは▲2.9億円。
- 上記の結果、当第2四半期末の現金及び現金同等物は前期末比4.1億円増加の51.9億円。

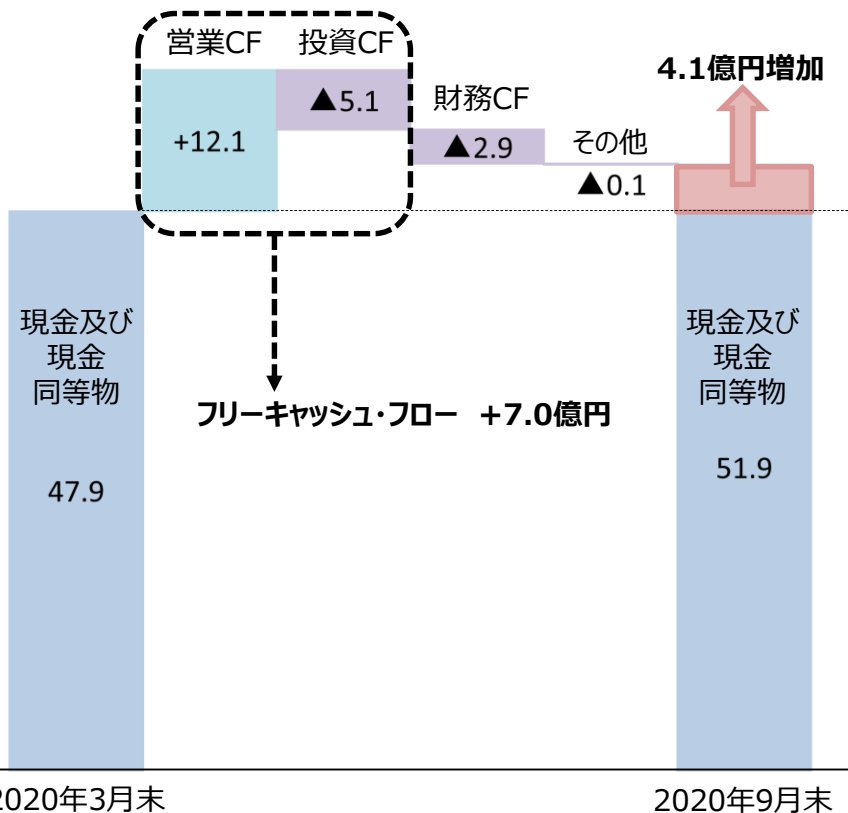
【現金及び現金同等物の増減内訳】

(億円)

【連結キャッシュフロー計算書 概要】

(百万円)

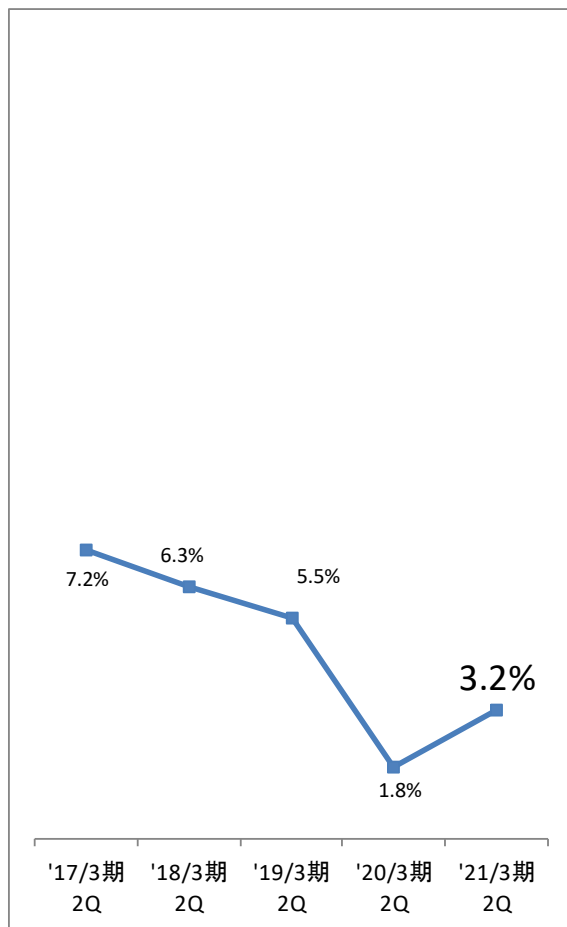
項目	金額	備考
税金等調整前四半期純利益	813	
減価償却費	314	
製品補償引当金の増減額	▲36	製品不具合対応の進捗による取崩し
火災関連損失引当金の増減額	▲192	埼玉工場火災に関する引当の減少
その他	308	
営業活動によるキャッシュ・フロー計	1,207	
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲506	主に有形固定資産の取得
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲286	主に配当金の支払い



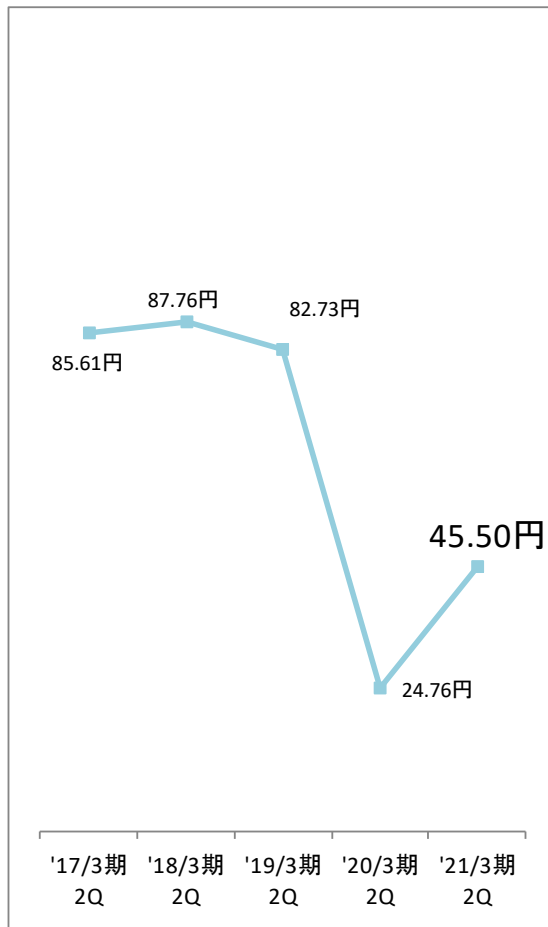


# 6. 連結経営指標

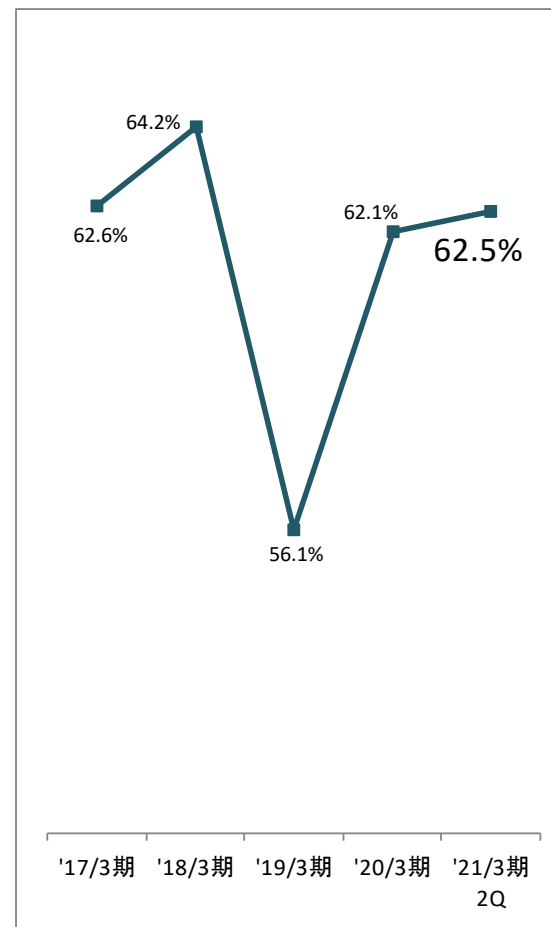
### 自己資本当期純利益率



### 1株当たり当期純利益



### 自己資本比率



※2016年10月1日付で普通株式について2株を1株の割合で株式併合を行っており、2016年3月期の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

## 7. トピックス - コロナ禍での各種対応

### 【財務基盤の強化】

今般のコロナ感染症の影響が不透明な状況であることから、機動的かつ安定的な資金調達を目的としてコミットメントライン契約を締結しました。

契約締結先	(株)三井住友銀行、(株)山口銀行、(株)みなと銀行、 兵庫県信用農業協同組合連合会
借入極度額	総額40億円
契約締結日	2020/08/31
契約期間	2020/09/01-2021/08/31
契約形態	個別相対方式

当社は2019年12月26日にシンジケート方式によるコミットメントライン契約（借入極度額20億円）を締結済みであり、本件と併せた借入極度額合計は60億円となります。なお、現時点で金融機関からの借入金はありません。

# 7. トピックス - コロナ禍での各種対応

## 【ニューノーマルに対応した営業活動】

コロナ禍にあっても営業活動をスムーズにおこなうため、様々な対策を講じており、リモートワーク営業マニュアルを作成し、対面とは状況が異なるリモートであってもお客様へ必要な提案ができるようにしております。

更に、YouTubeやInstagramを利用して「アスロック」の高い意匠性や施工風景・技術面を動画でわかりやすく紹介するなど、製品PRに活用しております。

YouTube  
チャンネル名：アスロック公式チャンネル



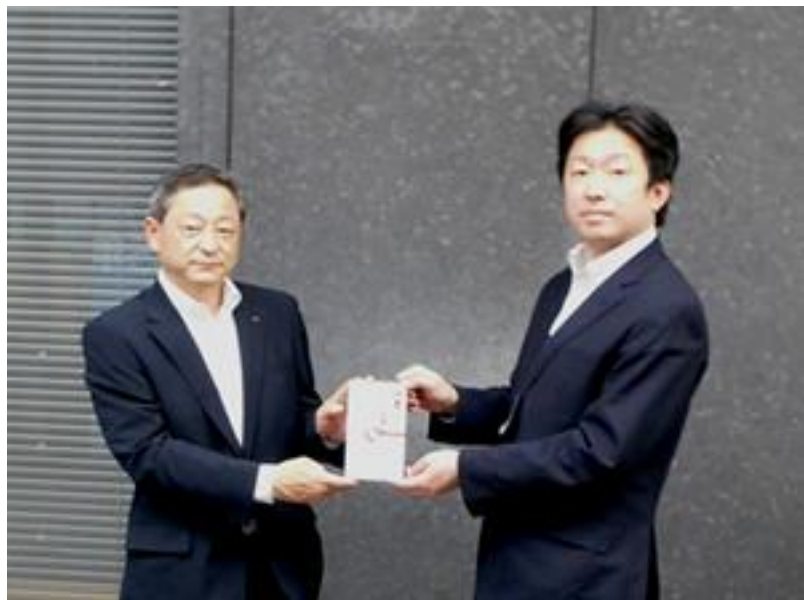
Instagram  
アカウント名：@asloc\_official



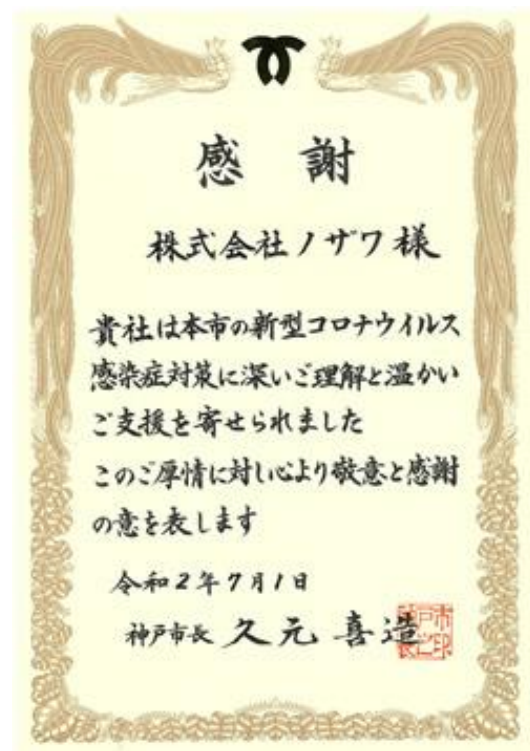
## 7. トピックス - コロナ禍での各種対応

コロナ感染症の感染拡大を阻止すべく、最前線の医療現場に従事される方々のお役にたてればとの思いから、令和2年5月21日、新型インフルエンザ流行を機に備蓄していましたN95医療用マスク10,000枚を神戸市へ寄贈いたしました。

一日も早いコロナ感染症の終息を願うとともに、今後も弊社に出来る支援を実施してまいります。



(右) 神戸市危機管理室 担当課長 高橋 健司 様  
(左) 弊社取締役管理本部長 西岡 誠司



本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後さまざまな要因によって大きく異なる可能性があります。

また、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。